

村民同士の交流でほっこり



長井絹代さん（前列右から3人目／関沢）が、仲間へのプレゼントに持参した趣味の紙細工を手に

「しあわせカフェ永井川（代表世話人・佐藤俊雄さん／草野）」の皆さんは、月に1度、村民同士でさまざまな交流活動を行っています。3月12日には、永井川集会所（福島市）で、輪投げやラダーゲッターなどの軽スポーツを楽しみ、持ち寄りのお茶うけでティータイム。楽しいひとときを過ごしました。

身近な話題をお届けします。皆さんからの情報もお待ちしています。



草餅とかぼち餅 持ち寄りの漬物

楽しさいっぱい！バドミントン交流会



交流会を主催した「いいたてスポーツクラブ（大澤和己理事長／上飯樋）」のブログサイトはこちらから

3月17日、第6回バドミントン交流会が、飯館中学校体育館で開催されました。32人の参加者は、ダブルスでゲームを楽しんだ他、通常のラケットの2倍半もある「デカラケ」で通常より5倍位大きな羽根を打つ競技や、長靴・バケツなどで飛んできた羽根をキャッチする「シャトルキャッチ」にもチャレンジ。各競技で、参加者の笑顔がはじけました。「シャトルキャッチ」では、キャッチした数に応じてお菓子がもらえるとなっており、大人も子どももさらに盛り上がりました。

心なごむ“小さなお茶会”



3月19日、南相馬市飯館自治会（北原昇会長／宮内）が、石神学習センター（南相馬市）で恒例の「小さなお茶会」を開催。約30人が腹話術やビンゴゲームなどを楽しみました。「小さなお茶会」は、福島被災者応援移動喫茶店「Café de FUKUSHIMA（カフェ・ド・フクシマ）」を開いている石川和宏さん夫妻の支援によるもので、昼食には温かな豚汁や焼き鳥、デザートには自家焙煎コーヒーと手作りケーキが振る舞われました。東京電力福島復興本社の職員も運営を手伝いました。

同自治会は、3月末で解散しましたが、村民同士が交流できるようなお茶会等を自主的に続けていく予定だそうです。

楽しみに待つ会員の声に応え、継続的にお茶会を支援してきた「カフェ・ド・フクシマ」の石川さん夫婦（最後列左端が石川さん・最前列右端が妻の千鶴子さん）と記念撮影



よい苗が育つよう願いをかけて苗代に立てられたお札



その11

豊作を祈る 苗代づくり

春の彼岸の中日というと、種籾（たねもみ）浸しが始まりました。浸す場所は、川であったり種池であったり。種籾桜の色づきを見て、始める地域もありました。1週間から10日ほど浸した種籾は、日向に寝かせて、芽切りをして、苗代に蒔きました。苗代は、田んぼの隅この水口近くにあり、田植えができる大きさになるまで、そこで苗を育てました。

種籾を蒔く日には、「水口（みなくち）まつり」や「苗代まつり」が行われました。マンサクと桃の花を水口に刺す所、3本のカヤもしくはヨシに泥を付けて立てる所、やき米を供えたり蒔いたりする所と、地域によって、やり方はさまざま。小さな苗がこよりのように見えるので「水口まつり」を、「よりこまつり」「よりこ神様」と呼ぶ地域もあったそうです。いい苗が育ち、たくさん米が穫れるよう、皆で苗代に願いを込めていたのですね。

参考／写真転載 飯館村史第3巻「民俗」

村内で営農再開を予定している方は、復興対策課農政第一係・第二係にご相談ください。

営農再開に必要な手続きや、助成の紹介を行っている他、イノシシ柵・サル柵の貸与、堆肥の配布などさまざまな支援も受け付けています。

農政第一係 ☎0244-42-1621
農政第二係 ☎0244-42-1625

出荷を行う「なりわい農業」を行う方も、自家用に「生きがい農業」を行う方も、再開前にご相談ください。

営農再開を予定している方は 農政係へ相談を

生活支援係は 飯館村役場で 業務を行っています

松川事務所は 閉所しました。

生活支援係の新しい電話番号は ☎0244-42-1609

3月まで松川第一応急仮設住宅で業務を行ってきた住民課生活支援係は、4月1日より、村役場本庁で、業務を行っています。

村役場の新年度の職員配置や各課の連絡先は、P20・21に掲載しています。合わせてご確認ください。